

平成25年度 小田原市市民活動応援補助金 申込状況一覧

＜スタートアップコース＞(上限10万円)

No.	事業名	団体名	概要
1	小倉百人一首・競技かるたの世界へ	小田原かささぎ会	百人一首・競技かるたを通じ、青少年の健全な育成、並びに中高年に対しては生涯学習の一環として歴史・文化・地域社会への向上に寄与する。一昔前まで、正月の主役であり、昨今は、漫画やアニメの「ちはやふる」の影響で人気となったかるたを、一人でも多くの老若男女に知ってもらい交流を深める。
2	新市民ホール応援イベント 三遊亭亜郎ミュージカル落語「背中に輝く大きな星」	ODAWARAわくわくプロジェクト	現代社会において事件としてもとりあげられる「イジメ」について、固く・うるさく言うのではなく、ミュージカル落語という「お話と歌と音楽」を通じて「イジメ・差別・偏見」は、いけないという事なのだということを考える。
3	療育キャンプ事業	支援が必要な子ども達の療育を支える会	支援が必要な子ども達の発達が多様なため、家庭、療育・教育の専門職等が連携することによって、より効果的に行えると考ええる。そこで、本人・保護者及び教育関係者や作業療法士等の専門職が連携して子どもの育ちについて考える場(キャンプ)を設定することにした。キャンプでは、専門職集団は適切な指導方法を探る、子ども達は学習方法や能力を再確認する、保護者は教育方法を見直す機会とする。
4	保護犬猫譲渡会開催(A)及び猫捕獲器の無料貸し出し(B)	小田原犬猫レスキュー.com	A、保護センターに収容されている殺処分待ちの犬猫を、再びペットとして迎え入れてもらえるよう、譲渡会を開催する。 B、猫の捕獲器を無料で貸し出す。(迷子になった飼い猫を捕まえる、又は野良猫の不妊去勢手術のための保護目的として)
5	国際協力	やさしい英会話	英語力、特に英会話力を強化する為に小田原市民を対象にChula Vista及びManlyと姉妹都市関係向上の事業を行う。
6	若者の自立支援のための諸活動と交流サロン展開事業	コミュニティーカフェサロン「たんぽぽ」	ひきこもり、ニートと言われている子どもを抱え、子どもの自立を望む家族自らが、家族同士つながる場所を作りながら、若者の社会参加・就労に向けての諸活動(コミュニティーカフェサロン、手作り品の作成、農園作業等)を展開していく。
7	アートワークショップ事業	アートークカフェ城下町	小田原市の日常生活にアートを取り入れ、子供から高齢者まで幅広い年代が気軽に作品作りに参加出来る場を広げる事業を行う。

平成25年度 小田原市市民活動応援補助金 申込状況一覧

<ステップアップコース プランA> (事業費の70% 上限20万円)

No.	事業名	団体名	概要
1	サシバの営巣を復活させる棚田整備	サシバプロジェクトチーム	絶滅危惧種のサシバの再営巣を目指し、放置された棚田の整備を行い、営巣環境を整える。 棚田を市民の自然教育の場として活用する。 放置田の水田耕作を行い、地域の農業従事者との連携を図り、沼代地区の活性化を目指す。
2	「プレイパークをつくる会」事業	pp@seisho	子どもが子どもらしくいられる場、また、子どもだけでなく、あらゆる人が、自分らしく、のびのびといられる場、プレイパークの常設に向けて、これまで1日プレイパークなどの活動をしてきた。今年度はより多くの人へのプレイパークの理念・必要性の周知と、プレイパークの定期開催へとステップアップしたい。
3	ホタルを慈しむ集い	蛍田に蛍を育む会	小学生児童やその家族、地域住民の皆様を対象に小田原アリーナ沿いの蛍川で源氏ボタルの鑑賞及びアリーナ施設内(広場含む)でホタル生態学習等のパネル展示会やクイズ、ミニ音楽祭、抽選会等を開催。 これらのことを通じて生態系保護やホタルを慈しむ心の醸成、環境保全活動の重要性の認識向上につなげたい。
4	「食育基本法に依拠した『食育』の推進事業(食育委員会)」	NPO法人命を大切にする小田原を創る会	1. 学校における食育事業(小学校) 2. 家庭菜園モデル圃場事業(会員、市民) 3. 親子ぐるみプランター栽培事業(親子30組) 4. 家庭菜園講習・有機農法援農自習事業(会員、市民) 5. 調理学習・実習事業(家族30組) 6. 食育啓発活動(講演会)事業(市民300名)
5	小田原子育て支援ポータルサイト「ぴんたっこ」運営事業	小田原子育て支援ポータルサイト「ぴんたっこ」運営協議会	小田原で子育て中の世帯に、子育てに役立つ情報(例: イベント情報・幼稚園・保育園・公園・サークル等)を提供する。子どもの成長や生活に合わせて、欲しい時に簡単に、民間と行政の情報をまとめて入手できるサイトを目指す。

平成25年度 小田原市市民活動応援補助金 申込状況一覧

<ステップアップコース プランB> (事業費の50% 上限30万円)

No.	事業名	団体名	概要
1	青パトによる安心安全まちづくり事業	特定非営利活動法人 日本犯罪防止事業団神奈川本部小田原支部	H23年度小田原市市民活動応援補助金制度(スタートアップ)にて事業展開を開始した青パトによる自主防犯活動のネットワーク作りを加速させ、青パトによる安心安全まちづくり事業による公益コミュニティービジネスモデルを創造する。
2	子供「木育-モクイク-」活動	KIKIぷろじえくと	次世代を担う小田原市の子供達を対象に、地元の木材を使い「地域の森や木を知る」活動を行います。また、鋸やカンナと言った工具を使用し木工体験を行うことで、木材の性質や木のぬくもりなど、木の特性を伝えていきます。
3	小田原のお米プロジェクト	特定非営利活動法人小田原食とみどり	農体験を通して食育、地域農業の活性化を行う。 世代を超え多くの人が昔ながらの米作りを学ぶことで、稲作農業に対する理解・知識・興味を高める。 小田原市内の耕作放棄地を活用した米作り体験交流で、農薬・化学肥料を使用せずに苗から育て、刈り取った稲はハザがけし天日干して食味を向上させ自家用米の栽培と販売を行う。事業継続のため米を販売し経済的自立を図る。
4	第4回「小田原・済州友好交流親善少年サッカー大会」	小田原・済州友好交流協会	小田原市の子どもの健全育成と国際感覚を醸成するために、小学生を対象に、韓国・済州市の小学生サッカーチームとの親善交流試合・友好交流の会合等を通して、両市の子どもたち及び関係者間の親善と相互理解を深め、互いの文化を尊重し合い、両市の発展に寄与する事業を行う。
5	「ひよこあーとぷろじえくと」障がいを持つ人たちのアート表現活動の場を提供し広める事業	JDSひよこの会	様々な障がいを持つ人たちを対象に、美術家や様々なジャンルのアーティストを招き、アートを中心とするワークショップを実施。障がい児らが広く一般へ向けて自己表現することで、障がいに対する偏見をなくし、彼らの生活の質を向上させる。表現活動する場の提供と、そこから生まれた作品をギャラリー展示などを通じ広く周知することで、障がいを持つ人もそうでない人も共に暮らす社会、ノーマライゼーション社会になることを目指します。
6	小田原市自治会用回覧板無償配布事業	特定非営利活動法人 地域自治協働事業会	金融機関や医療機関などが回覧板の板、及び、電子掲示板を活用して発信する生活情報などを家庭へお届けする橋渡し役を果たしながら、後を絶たない悪徳商法等の情報を、警察や行政と連携を図りながら地域住民、特に青少年や高齢者が被害者にならない様に回覧板の板や電子掲示板を活用して警告や注意喚起を行い地域住民が健やかで快適な生活を営むことが出来るまちづくりを目指す事業。